

令和2年度第2回羽村市文化財保護審議会 会議録

日 時	令和2年9月19日（土） 午後3時00分～午後4時45分
会 場	羽村市郷土博物館 会議室
出 席 者	白井 裕泰 委員、島田 秀男 委員、和田 哲 委員、坂上 洋之 委員、 坂詰 智美 委員、金子 淳 委員、鈴木 秀和 委員
欠 席 者	なし
議 題	審議会 1 あいさつ 2 議題等 (1) 令和元年度第4回及び令和2年度第1回羽村市文化財保護審議会会議録要旨の 確認について (2) 令和2年度文化財説明板の修繕について－資料1 (3) 令和2年度羽村市文化財保護審議会視察について 3 報告事項 (1) 第33回多摩郷土誌フェアについて 4 その他 (1) 次回日程について 令和2年12月5日（土）
傍 聴 者	なし
配 布 資 料	【資料1】根岸地蔵・鳩胸坂説明板文面、現況、設置位置
会議の内容	1. あいさつ (会長) <あいさつ> 2. 議題等 (1) 令和元年度第4回及び令和2年度第1回羽村市文化財保護審議会会議録要旨の 確認について (事務局) 令和元年度第4回会議録については以前に配布しており、訂正等あるかご 確認いただきたい。令和2年度第1回会議録については次回までに確認いただきたい。 (会長) 訂正等、ご意見等はあるか。 (各委員) 特になし。 (会長) 無いようなので令和元年度第4回会議録は承認とし、令和2年度第1回会議 録については次回までに確認をお願いします。 (2) 令和2年度文化財説明板の修繕について (会長) 事務局からの説明をお願いします。 (事務局) <【資料1】を用いて説明> (委員) 「根岸地蔵」の説明板の設置年度は、資料では平成20年となっているが、 写真では21年となっている。どちらが正しいか。

(事務局) 21年が正しい。訂正願いたい。

(委員) 1行目及び5行目にある「よばれ」という単語について、平仮名になっているが、過去の説明板では漢字表記になっている。平仮名・漢字どちらかで統一すべきではないか。

(事務局) 漢字で統一することとしたい。

(委員) 英文表記の方、「かんなんどう」が「kannadou」となっており、nが一つ足りないのではないか。

(事務局) 修正したい。

(委員) 新たに説明板の文章を打ち直したとのことだったが、データで文章を持ってはいないのか。作り替えたのであれば、その時にデータを作成しているのではないか。また市民から説明板に関する問い合わせがあった場合、実物を見に行かないと文面を把握できないのであれば、それはよくないのではないか。市として説明板の文章のデータを持っているべきではないか。

(事務局) 説明板のデータは保有しているものの、根岸地蔵に関しては校了原稿の前、校正段階のものを提示してしまったのかもしれない。

(委員) 「芝居もかかる」という表現は一般的にあるのか。

(委員) 昔から言われる表現ではないか。

(委員) 今風の表現にすべきではないか。

(委員) 地蔵堂の境内のような場所はあるのか。そのあたりに観音堂があったのか。

(事務局) すぐ隣に公園と集会施設があり、その辺りに観音堂があったのではないかとと思われる。

(委員) 地蔵が祀られているところに観音様が祀られていたのか。

(委員) 地蔵堂の境内が今よりもっと広く、そこに観音堂があったのか、別の敷地に観音堂があったのか。

(委員) 地蔵堂の隣の公園・集会施設の場所に過去に観音堂があったのではないか。特定はできないが、公共施設の敷地なので、そこにあったと思われる。

(委員) 同じ敷地と言えるのか。

(委員) 隣あってはいるものの、特定は難しいのではないか。

(委員) 墓地はどここの寺の墓地なのか。

(委員) この辺りは禅林寺ではなく一峰院の檀家も入り込んでいるため、特定は難しい。

(委員) 「かんなんどう」というのは観音堂ではなく、主に江戸時代に行われた「寒念仏」のお堂だったのではないか。そうなれば念仏の繋がりや、地蔵とも関わりが出てくる。

(委員) なかなか特定は難しいのではないか。

(委員) この説明板の文面を見ると、一つの敷地の中に観音堂と地蔵堂があり、今は観音堂とお墓がなくなり、地蔵堂だけが残っている、という解釈でいいのではないか。

(委員) お墓と観音堂はセットだったと思われるが、地蔵堂は村持ちのもので、別個

のものだったのだろう。

(委員) どの部分が国有地なのか。

(事務局) ベンチ、地蔵堂、鉄柱のある三角地の部分である。

(委員) いつ頃から国有地なのか。元々国有地という場所はほとんどない。明治以降に入会地などが所有権の関係で没収され、国有地・都道府県有地になっているので、ここもそのような経緯があったのではないか。

(事務局) 恐らくそうだと思う。

(委員) 万霊塔というのは固有名詞ではないのか。英文では「The tower」としか書いておらず、後ろに「all dead person's spirit」と説明がある。

(委員) 「万霊」という語は辞書には出ていないが、羽村含め近隣自治体に万霊塔は複数ある。

(委員) 地蔵堂の管理は誰が行なっているのか。

(事務局) 周辺の方、講中の方が行なっていると聞いている。

(委員) 所有権はどこにあるのか。

(事務局) お堂は講中だと思う。

(委員) 講中はまだ存続しているのか。

(事務局) お一人で行っていると聞いている。

(委員) 「鳩胸坂」の説明板の文章について、資料中では「玉川」となっているが正しいのか。

(事務局) 「多摩川」に訂正したい。

(委員) この説明板は日本語文の縦書きのみだが、英文は載せるのか。

(事務局) 審議会で日本語文を検討いただいたのち、英文を作成する予定である。

(委員) 作成が古いからなにかルビが少ない。最近のものはルビが多いので増やすべきではないか。

(委員) どこに振るのが良いか。

(委員) 「上州路」や「小作」、「霞丘陵」は振った方がよいのではないか。

(委員) 「霞丘陵」については、最近では「加住丘陵」の文字を使っている。

(事務局) 今挙げていただいた部分については修正したい。

(委員) 最後の部分、「歩みを進めたことでしょうか」というのは、どうなのか。情緒的ではないか。「武蔵野台地を踏んで」という表現も気になる。

(委員) これは江戸時代ということ強調するための配慮なのかもしれない。

(委員) 「多摩川南岸」という言い方も過去にしていたのだろうか。

(委員) 「霞」の文字については、新たに刊行された羽村市史の自然編ではどの字を使っているのか。

(事務局) 「加住」の字を使っている。

(委員) 青梅の地名では「霞」を使っている。地名や集落の名前では「霞」を使い、丘陵の名称としては「加住」を使っていたのではないか。

(委員) 「かけ声が村中をこだまし」や、「汗をふきふき」という表現も含めて情緒的

すぎる気がする。

(委員)「言い伝えでは」、「～と言われていました」、「古老の聞き書きによると」というような表現を加えられるといいのではないか。

(委員)何か確認できる資料があればいいのだが。

(委員)ある程度情緒的でも問題はないのではないか。

(委員)「上州路」というのは説明を加えた方がいいのではないか。読んだ人がイメージしにくいと思う。

(委員)上州路とはどこを指しているのか。

(委員)秩父を抜けて上州へ行く、ということか。

(委員)秩父方面と、上州方面と別個の道ということを示していると思われる。「方面」と記載すれば、ある程度分かりやすくなるのではないか。

(委員)「(今の群馬県)」というような、説明を入れた方がいいのではないか。

(委員)江戸にも方面を入れるべきか。

(委員)そちらはそのままでもいいのではないか。

(委員)小作や友田の人たちが江戸へ向かう際は、奥多摩街道ではなく、鳩胸坂を登って青梅街道を通って行ったのか。

(委員)鳩胸坂を利用する人たちにフォーカスした文章であって、江戸へ向かう全ての人が鳩胸坂を登ったというわけではないのではないか。

(委員)市内の他の坂の説明板はどうなっているのか。歴史地理学的な内容になっているのか。それとも情緒的な内容が含まれているのか。

(委員)他の坂の書き振りを次回提示してほしい。比較し、再度検討したい。

(事務局)承知した。

(3) 令和2年度羽村市文化財保護審議会視察について

(事務局)今年度の審議会の視察は市内文化財を対象とするという提案を前回の審議会ですべていただいた。しかし今もって郷土博物館でも人数制限や館内説明の休止といった感染症対策を講じているところであり、視察となると車移動になるため、狭い車内に複数名が乗車していただくざるを得ず、感染症対策が十分に行えないと考えている。ついては、今年度の視察については中止とさせていただき、通常 of 審議会を行うこととしたい。

(委員)何か意見等あるか。無いようであれば次の議題に移る。

3. 報告事項

(1) 第33回多摩郷土誌フェアについて

(会長)事務局からの説明をお願いします。

(事務局)8月末を期限に東京都市社会教育課長会文化財部会の会員自治体及び昨年参加した自治体へ実施意向の調査を行った。前提条件として、フェアを開催する際に必要な感染症対策の費用を計上した開催のための予算を作成し、前年度参加した自治

体数と同数の 25 市町村が参加とならなければ赤字となってしまう旨を伝え、その上で開催希望を伺ったところ、全 26 自治体中、19 自治体が開催を希望せず、となった。このことから開催可能な自治体数に達しなかったため、中止となる予定。正式な決定はこの後、10 月 2 日に行われる文化財部会で行われる。

4. その他

(1) 次回日程、並びに会場について

(会長) 事務局からの説明をお願いします。

(事務局) 次回の会議の日程を決定したい。去年は、12 月最初の日曜日に視察を行っているため、そのあたりでの開催はどうか。

(会長) 各委員からのご意見等はあるか。

<各委員日程調整・承諾>

(事務局) では次回は 12 月 5 日(土)の午後 3 時から博物館にて開催ということで予定いただきたい。

(会長) 他に質問等が無ければ本日の議題は終了とする。

(一同) ありがとうございました。